

「長期休暇(エル休暇)」の 普及に向けて

—しっかり休み、生き生き働く「いきいきライフ」の提案—

LQ
エルキュー
しまししょう。



LQとは、「長期休暇(エル休暇)」の愛称です。

厚生労働省

「長期休暇制度と家庭生活の在り方に関する国民会議」報告書概要

平成11年11月に策定された「経済新生対策」において、ゆとりある勤労者生活の実現、家庭と地域の連携強化等により少子・高齢化社会に適切に対応するため、長期休暇制度の早期実現に向けた取組を展開することを盛り込みました。このため、広く国民各層を代表する方々にお集まりいただき、「長期休暇制度と家庭生活の在り方に関する国民会議」（座長：河合隼雄国際日本文化研究センター所長）を平成12年1月から5回にわたり開催し、7月に報告書「長期休暇（L休暇）」の普及に向けて一しっかり休み、生き生き働く「いきいきライフ」の提案—」を取りまとめました。

経済・雇用情勢が厳しい中「休暇」の普及促進を論ずること自体の困難性を認識しつつも、そのような厳しい時期であるからこそ、新しい世紀に向けて明かりをともしよう取組が必要であるとの考えの下意見の集約が行われました。

働く人が活力をもって生き生きと働くためにも、しっかりと休み、働き方や家族・地域との関係を含めて生き方（Life）を考える契機となるような長期（Long）の休暇として「長期休暇（L休暇）」を労使の話し合いの下、職場に導入されることを報告書は提案しています。



エル L 休暇の考え方

休暇の現状

P3 P4

エル L 休暇の提案

P5 P6



実現のための
関係者の取組

P7 P8

エル L 休暇の効用

P9 P10

新世紀に対応した日本社会の活性化

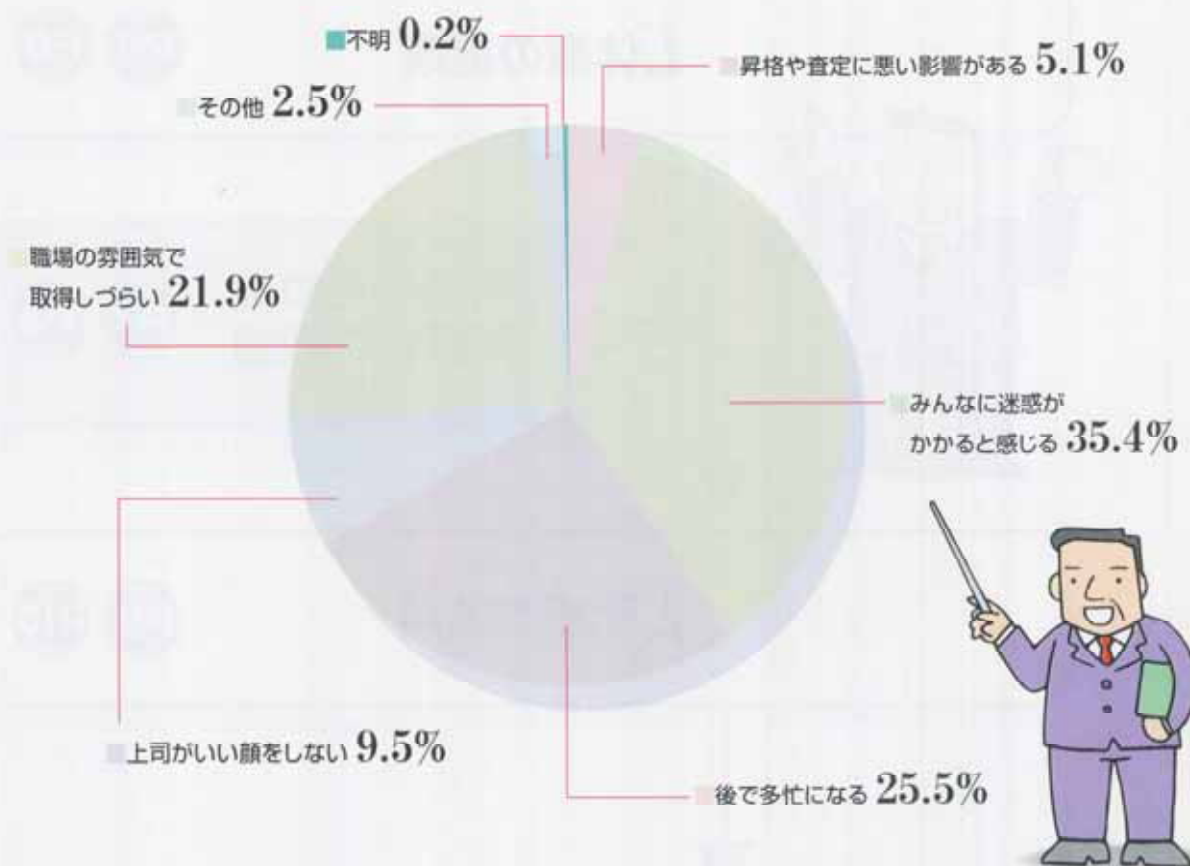
P11

日本の休暇の現

年次有給休暇に対する働く人の意識

年次有給休暇の取得について「ためらい」を感じている労働者は68.6%にのぼり、その理由としては、「みんなに迷惑がかかるから」、「後で多忙になるから」となっています。

年次有給休暇を取得する際にためらいを感じる理由



(資料出所) 三和総合研究所「長期休暇に関する労使の意識調査」

ゴールデンウィーク

春

夏季休暇

夏

日本の